

府中市次世代育成支援行動計画の実施状況と評価等  
(特定事業)

## 特定事業(国に取組み状況の報告が必要な事業)

産前産後家庭サポート事業								
妊娠中及び出産後の体調不良等により家事や育児が困難な家庭に対して援助者を派遣し、家事及び育児の一部を行うことにより、出産直後の生活が安定するよう支援します。								
子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実績		
登録世帯数(多胎児)	18世帯	15世帯	19世帯	22世帯	—	12世帯	—	—
利用日数(多胎児)	155日	213日	57日	91日	—	156日	—	—
登録世帯数(単胎児)	56世帯	100世帯	131世帯	123世帯	—	144世帯	—	—
利用日数(単胎児)	282日	342日	429日	391日	—	588日	—	—
平成20年度の 自己評価	今年度から対象期間を「単胎児は生後1歳まで」「多胎児は生後3歳まで」と延長を行いました。 また、サポート日数についても単胎児について妊娠中から出産前まで5日間追加しました。 産前産後家庭サポート事業について、市民への周知が進んできたこともあり利用日数が大幅に増加しています。							
備考	産後家庭サポート事業と平成18年度から育児家庭訪問事業を実施したことで、国が指定した特定事業の一つである育児支援家庭訪問事業(国事業名)の要件を満たす形となり、平成18年度から国交付金の対象となりました。(国への報告が必要)							

育児家庭訪問事業								
育児不安を抱える家庭(妊娠期を含む)や育児困難な家庭に、家事支援ヘルパーや保健師・助産師などの有資格者が家庭訪問し、児童虐待の発生を予防するとともに、家庭における安定した子どもの育成を見守る体制をつくります。								
子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実績		
対象世帯数	—	—	31世帯	67世帯	—	83世帯	—	—
派遣日数	—	—	220日	844日	—	1,209日	—	—
平成20年度の 自己評価	短期間では結果の出ない事業であるが、訪問を重ねることで効果の見える家庭も出てきています。 精神的な疾患を抱える家庭も多く、対応は多岐に亘っています。							
備考	産後家庭サポート事業と平成18年度から育児家庭訪問事業を実施したことで、国が指定した特定事業の一つである育児支援家庭訪問事業(国事業名)の要件を満たす形となり、平成18年度から国交付金の対象となりました。(国への報告が必要)							

## ショートステイ

保護者が出産、疾病などの理由で、子どもの養育が一時的に困難な場合に、18歳までの子どもを泊りがけで預かるショートステイを実施します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実績		
施設数(施設)	1か所	1か所	1か所	3か所	3か所	3か所	3か所	1か所
定員(人)/日	8人	8人	8人	12人	12人	12人	12人	8人
延べ利用人数	140人	143人	128人	392人	—	153人	200人	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	施設数が3か所となったことで、保護者の出産や傷病などの場合だけでなく、緊急時(レスパイトショウートステイ)の利用に対しても対応できるようになりました。							
平成20年度の 自己評価	平成19年度より施設数が3か所になったことから、緊急の事例にも対応できるようになりました。							
備考								

## トワイライトステイ

共働きや残業などで保護者の帰宅が恒常的に遅い家庭の子どもを預かるトワイライトステイを拡大します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実績		
施設数(施設)	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	3か所
定員(人/日)	40人	40人	65人	65人	65人	65人	70人	90人
延べ利用人数	6,361人	6,137人	6,172人	6,905人	6,100人	5,938人	—	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	保育所の延長保育の実施などで、利用は頭打ち傾向になっています。今後、潜在ニーズを把握する中で、事業の一層のPRに努めます。							
平成20年度の 自己評価	高倉保育所の認知度も高まり、高倉保育所の利用者が伸びています。一方しらとりの利用は、地理的な不便さもあり減少傾向にあります。							
備考								

ファミリーサポートセンター								
仕事と子育ての両立に向けた環境整備の一環として、市民による会員制の相互育児支援活動の調整業務を行います。また、子ども家庭支援センター「たっち」内に会員の活動場所を設けます。								
子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実績		
会員数	742人	974人	1,107人	1,194人	1,300人	1,219人	1,300人	1,300人
提供会員	158人	182人	199人	233人		246人		
依頼会員	560人	743人	857人	892人		900人		
両方会員	24人	49人	51人	69人		73人		
活動回数	4,720回	4,434回	5,003回	6,387回	-	6,560回	-	-
最終目標から見た 平成21年度目標 について	会員数は増加しているが、最終目標を達成するには、一層の広報活動が必要です。							
平成20年度の 自己評価	提供会員と依頼会員のペアリングからサポートにつながるケースが増加しました。就労などによりサポートの必要性が高まり、活動回数の増加につながったと考えられます。							
備考								

妊産婦・新生児訪問								
育児上必要な事項及び健康管理について、家庭訪問により適切な指導を行うとともに、疾病や異常の早期発見や治療等について助言します。								
健康推進課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実績		
妊産婦訪問	-	-	-	229件	-	314件	-	-
新生児訪問	-	-	-	1,316件	-	1,649件	-	-
平成20年度の 自己評価	新生児訪問の対象を「原則第1子の90日まで」から「4か月児まで」に拡大し、訪問対象者を出生通知書受理・病院からの連絡・妊婦時からの支援ケース・関係機関からの連絡等から把握し、保健師・助産師が訪問しました。ケース対応会議を155件実施し、継続支援を行いました。							
備考	「こんにちはあかちゃん事業」として、平成20年度より特定事業(国交付金の対象)となりました。そのため、妊産婦・新生児訪問事業が報告対象となりました。							

## 延長保育

市立保育所、私立保育園ともに、夕方から夜にかけて保育が必要となる子どもを預かる時間延長保育を拡大します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実績		
施設数(施設)								
19時まで	27か所	27か所	26か所	23か所	23か所	23か所	23か所	—
20時まで	2か所	2か所	3か所	6か所	6か所	6か所	9か所	31か所
21時まで	—	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
22時まで	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
利用者数(人)／1日								
19時まで	424人	503人	527人	466人	500人	443人	—	—
20時まで	12人	14人	19人	22人	25人	20人	—	—
21時まで	0人	5人	5人	4人	5人	5人	—	—
22時まで	11人	12人	13人	13人	13人	8人	—	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	延長保育の利用実績から、平成21年度の目標は、平成20年度と同等としています。市民意向調査、ニーズ推計及び利用実績の状況から、改めて目標を設定します。							
平成20年度の 自己評価	公立保育所3か所における午後8時までの延長保育の利用実績が少ない状況です。引き続き、私立保育園にも協力依頼をしていきます。							
備考	利用者数は、1日あたりの利用者数の平均値です。							

## 府中市次世代育成支援行動計画の実施状況と評価等(重点・新規事業)

## 子育て不安の解消

### 1 子ども家庭支援センター「たち」における情報提供

子ども家庭支援センター「たち」を子育てに関する情報の集約施設とし、情報の収集・提供を行います。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	事業を開始しました。	子育て団体活動の紹介と情報コーナーの充実を検討しました。	隔月発行で子ども家庭支援センターだより「たちだより」を作成しました。	「たちだより」を毎月500部発行しました。	情報の収集・発信	毎月25日に「たちだより」を500部発行。子育て関連の情報を収集し、提供しました。	情報の収集・発信	情報コーナーの整備・活用をします。
最終目標から見た平成21年度目標について	子育てに関する幅広い情報の収集と提供を行います。							
平成20年度の自己評価	たちだよりを発行し、イベントの予定や講座案内等の情報発信を行いました。情報コーナーに「お出かけ情報」を集め掲載しました。							
備考								

### 2 児童館における情報提供

子ども家庭支援センター「たち」と連携して、地域の子育て関連情報の収集・提供をします。また、児童館における相談体制の充実を検討します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	サークル活動等の案内をしました。	サークル活動等の案内を実施しました。	児童館を利用した子育てひろばを開催することでの情報提供を実施しました。	文化センターを利用した、子育ての情報提供を実施しました。	地域を利用した子育て情報の収集・提供を検討します。	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板に掲載して情報提供を行いました。	文化センターを利用した、子育ての情報提供を実施します。	地域情報の収集・提供をします。
最終目標から見た平成21年度目標について	文化センターは11館あり、それぞれの地域で実施している子育て情報などや市内で実施している子育て情報などを文化センターの掲示板を利用することで伝えることができました。しかし、アンケート結果からもうかがえるように、情報が十分に市民に提供されていないことから、より効果的な情報提供のあり方も考えていく必要があります。							
平成20年度の自己評価	文化センターの掲示板で情報発信を行いました。							
備考								

## 子育て不安の解消

### 3 インターネットによる情報提供

NPOやボランティア団体と協力し、インターネットによる地域情報の収集・提供を検討します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	検討	子育て支援を実施するNPO団体と意見交換を実施しました。	子育て支援を実施するNPO団体と意見交換を実施しました。	ホームページ製作と更新方法について検討します。	子育て支援を実施するNPO団体と意見交換をしました。	インターネットの活用について検討します。	地域情報の収集・提供をします。
最終目標から見た平成21年度目標について	インターネットによる子育て専門の情報提供ができるような研究・検討をしていますが、まだ実施には至っていません。そのため、後期計画においても重点事業として取り組んでいくこととします。							
平成20年度の自己評価	子育て支援を実施するNPO団体と意見交換を実施しています。引き続き意見交換を行うとともにインターネットの有効活用を検討していきます。							
備考								

### 4 子育て講座

子ども家庭支援センター「たっち」において、出産・育児の不安解消や親同士の交流のための子育て講座を行います。また、父親・両親向けの講座を行い、父親の育児参加を促進します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	出産後の母子を対象にした講座(すやすやクラブ、ころりんクラブ)を各コース全4回を各2回実施しました。 妊婦を対象にした講座(カンガルータイム(全4回))を1回実施しました。	出産後の母子を対象にした講座(すやすやクラブ、ころりんクラブ)を各コース全6回を各2回実施しました。ミニすやころクラブを3回実施しました。 妊婦を対象にした講座を4回実施しました。	出産後の母子を対象とした講座(すやすやクラブ、ころりんクラブ)を各コース3回、3日間ずつ実施しました。 妊婦を対象にした講座(カンガルータイム(4コース8日間))、ベビーマッサージを4回実施しました。	月1回子育て講座を開催します。 父親・両親向けの講座を行います。	出産後の母子を対象とした講座(すやすやクラブ、ころりんクラブ)を各コース3回、4日間ずつ実施しました。 また、妊婦・父親を対象にした講座(カンガルータイム)を3回、ベビーマッサージを1回実施しました。	月1回の子育て講座、父親・両親向けの講座を実施します。	月1回開催します。
最終目標から見た平成21年度目標について	アンケート結果などを参考に、子育て家庭のニーズのあった講座を展開し事業の充実に努めます。 月1回開催目標は、達成する見込みです。							
平成20年度の自己評価	各講座とも盛況で、良いアンケート結果が出ています。 参加者のアンケートをもとに講座の内容をさらに検討し、充実させてきます。							
備考	○すやすやクラブ、ころりんクラブ・・・出産後の母子対象に親子交流や友達作りを目的とした講座です ○カンガルータイム・・・妊婦を対象に出産までの健康管理や妊婦からの友達作りを目的とした講座です							



## 子育て不安の解消

### 5 子ども家庭総合相談

子ども家庭支援センター「たち」を中心として、18歳までの子どもとその保護者に対する総合相談事業を充実します。また、定期的に、保健師や心理士等による専門相談日を設けます。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
施設名	しらとり	しらとり、たち	しらとり、たち	しらとり、たち	しらとり、たち	しらとり、たち	しらとり、たち	たち、しらとり
相談件数 (虐待相談含む)	199件	865件	1,008件	737件	—	813件	—	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	引き続き児童相談所、関係機関との連携を強化し、相談業務の充実に努めます。							
平成20年度の 自己評価	児童相談所と協力して訪問や支援を行うとともに、関係機関とも連携を持ちながら子ども家庭支援センターとしての活動の充実に努めました。							
備考								

### 6 市立保育所における相談事業

地域の保護者等の自主活動及び在宅で子育てをしている家庭への支援として、市立保育所での子育て相談や保育士による訪問事業を実施します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	市立保育所相談	市立保育所相談	保育所地域支援研究のために、在宅子育て家庭を対象にした事業への専属保育士を配置しました。	地域子育て支援担当5名を配置し、地域支援事業を行い、訪問事業の実施について検討しました。	地域での相談事業の充実及び訪問事業の検討を行います。	保育所での相談ひろば事業を実施する中での相談	保育所での相談ひろば事業を実施する中での相談	市立保育所保育士による地域の親子への訪問事業の実施します。
実施会場 (市立保育所)	15か所	15か所	市立保育所、ポップコーン実施会場、文化センター児童館、矢崎幼稚園	市立保育所、ポップコーン実施会場、文化センター児童館、矢崎幼稚園	市立保育所、ポップコーン実施会場、文化センター児童館、学童クラブ	市立保育所、ポップコーン実施会場、文化センター児童館、学童クラブ	市立保育所、ポップコーン実施会場、文化センター児童館、学童クラブ	地域の在宅子育て家庭への訪問
最終目標から見た 平成21年度目標 について	市立保育所で保育士、看護師などの専門職による相談を随時、受け付けます。また、各地域で行うひろば事業の中で相談を受けていますので、ひろば事業の拡充と連動して相談の場も充実がなされています。戸別訪問が必要な世帯には、保健センター及び子ども家庭支援センターたちと連携し支援しています。							
平成20年度の 自己評価	専任保育士を中心にして保育所をはじめ市内各地域で相談・ひろば事業を行い、多くの方が参加しました。							
備考								

## 子育て不安の解消

### 7 児童虐待の相談

児童虐待に関する専門の相談員を育成し、相談体制を充実します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
相談員数	2人	5人	5人	5人	6人	6人	6人	4人
相談件数 (虐待相談のみ/継続 相談は除く)	130件	212件	242件	180件	—	182件	—	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	相談員は目標を上回る人員を確保できました。引き続き相談体制を確保していくとともに、関係機関との連携を強化し、児童虐待の早期発見、早期介入に努めるとともに相談業務の充実を図ります。							
平成20年度の 自己評価	育児支援家庭訪問事業の活用により、継続的な見守りを行える家庭は増加しているが、状況が改善しない事例も多かったです。継続している事例は250件ほどあります。							
備考								

### 8 養育家庭(里親)事業

親の離婚、疾病等で家庭での生活ができない子どもや親の虐待等により家庭で生活することが好ましくない子どもを、登録した一般家庭で、一定期間、養子縁組を目的とせずに養育します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	養育家庭による体験報告会を開催するなどの啓発活動を実施しました。	養育家庭による体験報告会を開催するなどの啓発活動を実施しました。	養育家庭による体験報告会を開催するなどの啓発活動を実施しました。	養育家庭による体験報告会を開催するなどの啓発活動を実施します。	養育家庭による体験発表会を関係機関の研修会としても実施しました。	養育家庭による体験報告会を開催するなどの啓発活動を実施します。	養育家庭登録世帯を20世帯にします。
最終目標から見た 平成21年度目標 について	目標が対20世帯の難しく、養育家庭制度が東京都の事業であることから、目標値については東京都とも協議し見直す必要があります。今後も児童相談所と共催で体験発表会を開催するなど、養育家庭についての理解や啓発活動に努めます。							
平成20年度の 自己評価	さまざまな事情を抱えている子どもを受け入れるには不安もあり、登録の増加につなげるためには地道な啓発活動が必要です。							
備考								

## 地域における子育て支援

### 9 子育て地域交流事業

子ども家庭支援センターを中心に、地域における仲間づくりのための情報提供や、家事・子育ての勉強会、ボランティア活動、交流の場の提供などを行います。また、ボランティア等の協力を得ながら実施回数を増やすとともに、特に声かけが必要な親子をグループ化するなど、きめ細かい事業を展開します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
対象年齢(歳)	0～3歳	0～6歳	0～6歳	0～6歳	0～6歳	0～6歳	0～6歳	0～6歳
延べ利用者数	2,280人	155,205人	130,408人	102,741人	—	102,983人	—	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	「たっち」「しらとり」でひろば事業を展開し、目標施設数は達成されている。 交流ひろばでの子育て講座を充実し、また、市内の子育て支援関連事業をサポートするボランティアを育成していきます。							
平成20年度の 自己評価	利用する年齢層に対応した運営を行った結果、親同士の交流の機会が拡大するとともに、スタッフへの子育て相談が増加してきています。							
備考	延べ利用者数は、親も含んだ数です。							

### 10 子育てひろば「ポップコーン」

子ども家庭支援センターの子育て地域交流事業を中心として、児童館や学童クラブ施設などにおいては地域性あふれるひろば事業を実施し、親子の交流と情報交換や仲間づくりを支援します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(か所)	6か所	6か所	7か所	25か所	25か所	26か所	26か所	11か所
活動ボラン ティア数(人)	48人	60人	61人	44人	50人	40人	50人	110人
延べ参加数	14,198人	12,057人	10,145人	14,513人	14,500人	15,099人	—	—
ポップコーン・パパ 実施施設数	15か所/月1回 (市立保育所)	15か所/月1回 (市立保育所)	16か所/月1回 (市立保育所)	16か所/月1回 (市立保育所)	16か所/月1回 (市立保育所)	全公立保育所 月1回	全公立保育所 月1回	15か所 月1回以上
参加者数	1,198人	1,097人	1,098人	1,102人	1,100人	1,094人	—	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	「ポップコーン」事業をはじめ、様々な地域性あふれるひろば事業を実施し、親子の交流と情報交換や仲間づくりを支援しています。ひろば事業全体では、26か所で実施しており、目標値を超えて拡充がされています。 地域ボランティアの人数は、事業の今後の展開を踏まえて見直していきます。							
平成20年度の 自己評価	「ポップコーン」に加え、保育所で毎月実施する「すきっぷ」、0歳児親子対象に実施する「ほののぼ」などのひろば事業を実施し、多くの人の参加がありました。							
備考								

## 地域における子育て支援

### 11 子育てひろば(A型)

地域の子育て家庭に対して、親子あそびや子育てに関する相談・助言等を行い、子育て不安の解消を図ります。また、子育ての啓発活動を進め、自主サークルやボランティアの育成を推進します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況(か所)	4か所 (私立保育園)	4か所 (私立保育園)	5か所 (私立保育園4) (市立保育所1)	5か所 (私立保育園4) (市立保育所1)	5か所 (私立保育園4) (市立保育所1)	A型 5か所 (私立保育園4) (市立保育所1)  C型 1か所	A型 7か所  C型 1か所	8か所(私立保育園)
延べ相談件数	1,952件	1,767件	1,723件	1,673件	—	2,236件	—	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	策定時の目標は8か所ですが、平成21年度に子育てひろば(A型)が2園開園され7か所となります。C型の1か所を加えると目標の8か所となります。							
平成20年度の 自己評価	今年度より、子育てひろばC型を「NOP法人自然育児友の会」に委託し晴見町に開設したところで、保育所(A型)の5か所とC型の1か所での実施となりました。親子の集える場の提供の他に子育て相談や子育て情報の提供などを実施しています。							
備考								

### 12 保育所地域交流事業

市立保育所の園庭及び遊戯室を開放し、地域の親子がふれあう場を提供するとともに、保育士などによる子育て相談を行います。

子育て支援課 保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況(か所)	15か所 (市立保育所)	15か所 (市立保育所)	16か所 (市立保育所)	16か所	16か所	16か所	16か所	16(市立保育所)
実施回数	月1回	月1回	月2回～毎週1回	毎週水曜日	毎週1回	毎週1回	毎週1回	月2回以上
参加者数	2,438人	3,105人	2,939人	11,569人	11,600人	12,476人	—	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	最終目標を上回り、各保育所で週1回の事業が定着してきました。引き続き継続していきます。							
平成20年度の 自己評価	保育所毎に実施曜日を変え、参加しやすいようにしました。							
備考								

## 地域における子育て支援

### 13 幼稚園園庭開放

市立幼稚園の園庭を開放し、在園児はもとより未就園児、近隣幼児等の安全で安心して遊べる場所として提供するとともに、保護者の交流の場とします。

学務保健課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
市立幼稚園	3か所/週1回	3か所/週1回	3か所/週4回	3か所/週4回	3か所/週4回	3か所/週4回	3か所/週4回	3か所/週3回
最終目標から見た 平成21年度目標 について	園庭解放事業が保護者に浸透されてきて、保護者同士のコミュニケーションの場として十分認知されてきましたが、現在水曜日は、午前中授業のため実施していないので、水曜日実施については今後の課題とします。							
平成20年度の 自己評価	園庭解放事業が保護者に浸透されてきて、保護者同士のコミュニケーションの場として十分認知されてきました。							
備考								

### 14 児童館における親子ふれあいの場の提供

児童館において、親子交流や情報交換、仲間づくりのための場を提供します。

子育て支援課・保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	キッズルーム等の開放	キッズルーム等を開放しました。	市内文化センター児童館やキッズルームで親子交流事業を実施しました。	市内文化センター児童館やキッズルームで親子交流事業を実施しました。	市内文化センター児童館やキッズルームで親子交流事業を実施します。	ポップコーン 2施設 スキップ 3施設 「幼児おあそびサークル」 9施設	市内文化センター児童館やキッズルームで親子交流事業を実施します。	ポップコーン事業の実施 ボランティア指導員の配置
最終目標から見た 平成21年度目標 について	児童館(文化センター)において、「ポップコーン」、「スキップ」、「幼児おあそびサークル」を実施したことで、親子のふれあいの場の提供ができました。また、ボランティア指導員については、「ポップコーン」において配置されているが、「スキップ」や「幼児おあそびサークル」でボランティア指導員は配置していません。今後「たっち」においてボランティア指導員の養成講習会を実施しボランティア指導員の活用を図ります。							
平成20年度の 自己評価	文化センター内児童館を開放し、新町・四谷文化センターでポップコーン事業を継続して実施しました。また、紅葉丘・西府・武蔵台文化センターでは、月1回親子交流事業として「すきっぷ」を実施しました。そして、文化センターの幼児室(9センター)では、親子同士の交流や情報交換ができる「お遊びサークル」を実施しています。							
備考								

## 地域における子育て支援

### 15 公会堂を利用した自主活動の場づくり

地域における日常的な交流が、行事などのコミュニティ参加のきっかけとなるように、自治会と協力して公会堂を利用した自主活動の場づくりを行います。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(か所)	-	-	0か所	4か所	5か所	3か所	5か所	モデル地区で実施し徐々に拡大します
最終目標から見た 平成21年度目標 について	19年度より3団体が自主活動を実施してきていますが、今後とも各地域で自主活動団体によるひろば活動が行われるように支援します。							
平成20年度の 自己評価								
備考								

### 16 ファミリーサポートセンター(再掲)

仕事と子育ての両立に向けた環境整備の一環として、市民による会員制の相互育児支援活動の調整業務を行います。また、子ども家庭支援センター「たち」内に会員の活動場所を設けます。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
会員数	742人	974人	1,107人	1,194人	1,300人	1,219人	1,300人	1,300人
提供会員	158人	182人	199人	233人		246人		
依頼会員	560人	743人	857人	892人		900人		
両方会員	24人	49人	51人	69人		73人		
活動回数	4,720回	4,434回	5,003回	6,387回	-	6,560回	-	-
最終目標から見た 平成21年度目標 について	会員数は増加しているが、最終目標を達成するには、一層の広報活動が必要です。							
平成20年度の 自己評価	提供会員と依頼会員のペアリングからサポートにつながるケースが増加しました。就労などによりサポートの必要性が高まり、活動回数の増加につながったと考えられます。							
備考								

## 地域における子育て支援

### 17 子育てボランティアの育成講座

社会福祉協議会と協力して、ボランティア及びボランティア希望者に対して、知識や技能を習得するための講座を行い、地域における様々な活動への参加を促進します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	—	子育てボランティアの活動の場を提供しました。	子育てボランティアの活動の場を提供しました。	子育てボランティアの活動の場を提供します。	子育てボランティアの活動の場を提供しました。	子育てボランティアの育成講座を年1コース開催します。	年2コース
最終目標から見た平成21年度目標について	平成21年度より「たち」において、子育てボランティアの育成講座を実施し、人材を子育て支援事業に活かしていきます。(年1コースを予定)							
平成20年度の自己評価	社会福祉協議会に登録しているボランティア登録者に活動の場として「たち」交流ひろばを提供しました。							
備考								

### 18 子育て関係団体ネットワーク

子育てにかかわる団体等による組織を設け、団体間の情報交換や活動を支援します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	—	子育て支援団体との情報交換を実施しました。	地域子育てひろば活動団体との情報交換を行いました。	地域子育てひろば活動団体との情報交換を行いました。	地域子育てひろば活動団体との情報交換を行いました。	地域子育てひろば活動団体との情報交換を行います。	組織を立ち上げ、情報交換・活動の支援を行います。
最終目標から見た平成21年度目標について	平成18年度から実施しているひろば会議(たち、しらとり、保健センター、保育課)を継続していくとともに、子ども家庭支援センター運営協議会で子育て関係団体のネットワーク化について検討していきます。							
平成20年度の自己評価	ひろば会議(子育て支援課、しらとり、保育課)を開催しました。							
備考								

## 保育サービスの充実

### 19 認可保育所

市立保育所の定員拡大を行うとともに、私立保育園の新設・分園や公設民営保育所の開設を行うことにより、待機児童の解消を目指します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)								
市立	15か所	15か所	16か所	16か所	16か所	16か所	16か所	16か所
私立	15か所	16か所	16か所	16か所	16か所	16か所	19か所	18か所
定員(人)	3,176人	3,240人	3,422人	3,458人	3,468人	3,509人	3,766人	3,701人
市立	1,561人	1,561人	1,704人	1,704人	1,704人	1,745人	1,786人	1,784人
私立	1,615人	1,679人	1,718人	1,754人	1,764人	1,764人	1,980人	1,917人
最終目標から見た 平成21年度目標 について	平成21年度に市立三本木保育所が増員するほか新たに3施設が開園し、目標は達成されます。しかしながら、申込者の増加により待機児童が解消されないため、引き続き定員増を図ります。							
平成20年度の 自己評価	認可定員は策定時目標を下回っていますが、施設の定員増加を図りました。							
備考								



## 20 認可外保育所

認証保育所の新設や保育室の認証保育所への移行を支援します。また、保育に欠ける児童が認可外保育所に入所している場合の利用者負担額の一部助成を検討します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)								
認証保育所	5か所	7か所	8か所	8か所	9か所	9か所	8か所	8か所
保育室	7か所	6か所	4か所	4か所	4か所	4か所	3か所	5か所
定員(人)	272人	325人	317人	302人	332人	332人	285人	334人
認証保育所	152人	220人	249人	235人	265人	265人	235人	261人
保育室	120人	105人	68人	67人	67人	67人	50人	73人
最終目標から見た 平成21年度目標 について	平成21年度は、やまびこ保育室が認可保育所となったことで、保育室が1施設減となります。 認証保育所は平成21年度中に1園認可保育所となり、平成22年4月には西府駅周辺に1施設開園することからほぼ目標どおりとなります。 保育室の認可保育所・認証保育所への移行を進めており、保育室は減少、認可保育所は目標を上回っている。							
平成20年度の 自己評価	エンゼルホームの開設により1施設増加し、定員は目標とほぼ同じになりました。							
備考	○19年度に、認証保育所1施設(エーワン)と保育室1施設(やまびこ保育室)が定員の減をしたため定員が減少しています。 ○20年度に、1施設(エンゼルホーム)が増えるため、認証保育所の定員が増えています。							

## 保育サービスの充実

## 21 障害児保育

障害のある子どもを持つ親の保育ニーズに応えるため、私立保育園の新設時などにあわせて入所定員枠を拡大します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)								
市立保育所	3歳児クラス以上に対応 30人	35人	29人	24人	34人	34	32	定員10人増
私立保育園	0歳児クラス以上に対応 33人	30人	29人	27人	37人	39	41	
最終目標から見た 平成21年度目標 について	全体の待機児童が多い状況のため、通常保育枠と障害児保育枠とのバランスをとりつつ、民間保育所の新設時などにあわせて障害児入所定員枠を拡大しています。							
平成20年度の 自己評価	障害児の受入に努めました。							
備考								

## 22 利用者負担のあり方の検討(認可・認可外)

認可保育所における保育料の適正化及び保育に欠ける児童が認可外保育所に入所している場合の認可保育所との負担格差の是正を検討し、より公平な仕組みへと見直しを行います。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	検討	検討	検討	認可外保育所利用者の保育料月1万円分を補助し、負担格差の軽減を図ります。	認証保育所及び保育室利用者の保育料の一部補助(月額1万円)を行いました。	引き続き、認証保育所及び保育室利用者の保育料月1万円分を補助し、負担格差の軽減を図ります。	負担のあり方を検討し、施策へ反映させます。
最終目標から見た平成21年度目標について	補助金の交付により負担格差の軽減を行っています。							
平成20年度の自己評価	認証保育所及び保育室の利用者への保育料の補助を行ったことにより、負担格差を軽減しました。							
備考								

## 保育サービスの充実

### 23 延長保育(再掲)

市立保育所、私立保育園ともに、夕方から夜にかけて保育が必要となる子どもを預かる時間延長保育を拡大します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)								
19時まで	27か所	27か所	26か所	23か所	23か所	23か所	23か所	—
20時まで	2か所	2か所	3か所	6か所	6か所	6か所	9か所	31か所
21時まで	—	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
22時まで	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
利用者数(人)／1日								
19時まで	424人	503人	527人	466人	500人	443人	—	—
20時まで	12人	14人	19人	22人	25人	20人	—	—
21時まで	0人	5人	5人	4人	5人	5人	—	—
22時まで	11人	12人	13人	13人	13人	8人	—	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	延長保育の利用実績から、平成21年度の目標は、平成20年度と同等としています。市民意向調査、ニーズ推計及び利用実績の状況から、改めて目標を設定します。							
平成20年度の 自己評価	公立保育所3か所における午後8時までの延長保育の利用実績が少ない状況です。引き続き、私立保育園にも協力依頼をしていきます。							
備考	利用者数は、1日あたりの利用者数の平均値です。							

## 保育サービスの充実

### 24 トワイルightステイ(再掲)

共働きや残業などで保護者の帰宅が恒常的に遅い家庭の子どもを預かるトワイルightステイを拡大します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	3か所
定員(人/日)	40人	40人	65人	65人	65人	65人	70人	90人
延べ利用人数	6,361人	6,137人	6,172人	6,905人	6,100人	5,938人	-	-
最終目標から見た 平成21年度目標 について	保育所の延長保育の実施などで、利用は頭打ち傾向になっています。今後、潜在ニーズを把握する中で、事業の一層のPRに努めます。							
平成20年度の 自己評価	高倉保育所の認知度も高まり、高倉保育所の利用者が伸びています。一方しらとりの利用は、地理的な不便さもあり減少傾向にあります。							
備考								

### 25 休日保育

休日の保育が必要な子どものための休日保育を新たな公設民営保育所などで実施します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)	-	-	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
定員(人/日)	-	-	37人	37人	37人	37人	37人	40人
延べ利用人数	-	-	365人	398人	400人	452人	450人	-
最終目標から見た 平成21年度目標 について	ほぼ目標どおりの実施となっています。							
平成20年度の 自己評価	2施設で実施しました。							
備考								

## 保育サービスの充実

### 26 年末保育

年末に保育を必要とする場合に子どもを預かる年末保育を実施します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	4か所	4か所	1か所	5か所	5か所	5か所	18か所
最終目標から見た 平成21年度目標 について	年末保育を希望する方は全て利用できていることから、現行のエリア毎の実施を継続します。							
平成20年度の 自己評価	公立保育所でエリア毎に実施しています。目標施設数より少ないものの、申込が少ないため、希望者は利用できている状況です。							
備考								

## 27 一時保育

保護者の入院や断続的な就労により、一時的に保育が必要な子どもを預かる一時保育を拡大します。また、子ども家庭支援センター「たっち」において、保護者のリフレッシュとしての一時保育(リフレッシュ保育)を実施します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)								
私立保育園	7か所	8か所	9か所	10か所	10か所	10か所	13か所	10か所
市立保育所	-	-	1か所	1か所	3か所	1か所	1か所	5か所
子ども家庭支援センター「たっち」	-	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
定員(人/日)								
私立保育園	67人	104人	109人	116人	120人	116人	120人	85人
市立保育所	-	-	24人	30人	32人	24人	24人	32人
子ども家庭支援センター「たっち」	-	8人	8人	8人	8人	8人	8人	10人
延べ利用人数								
私立保育園	13,771人	17,233人	14,811人	14,068人	-	14,628人	-	-
市立保育所	-	-	594人	2,114人	-	2,407人	-	-
子ども家庭支援センター「たっち」	-	1,260人	1,320人	1,580人	-	1,533人	-	-
最終目標から見た平成21年度目標について	平成21年度には、私立保育園が3施設開園し、一時保育を実施する予定です。一時保育施設として、私立保育園で13施設、市立保育所で1施設、子ども家庭支援センターで1施設と全体で15施設になることから目標に近い施設数となっています。							
平成20年度の自己評価	利用人数が毎年伸びています。							
備考								

## 保育サービスの充実

### 28 病後児保育(乳幼児健康支援一時預かり事業)

新たに病院併設の施設を開設するなど、病気の回復期にある子どもを預かる病後児保育を充実します。また、地域のひとびとによる支援など、家庭への保育者派遣の仕組みを検討します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)	1施設	1か所	1か所	2か所	1か所	1か所	1か所	2か所
定員(人)	4人	4人	4人	5人	4人	4人	4人	8人
実施時間	17時まで	18時まで	18時まで	19時まで	18時まで	18時まで	18時まで	18時まで
延べ利用人数	86人	38人	28人	13人	—	12人	—	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	保護者のニーズが病児保育になってきており、21年度から実施している病児保育事業の利用状況を見ながら、本事業について見直しを検討します。							
平成20年度の 自己評価	病後児保育の利用は、減少傾向になっています。							
備考	平成20年度より特定事業から除外となりました。							

### 29 アレルギー児対策

市立保育所で配慮が必要なアレルギー疾患を持つ乳幼児の給食対応を行います。また、アレルギー対策を行う私立保育園に対し助成を行います。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	31か所	32か所	32か所	32か所	32か所	35か所	34施設
最終目標から見た 平成21年度目標 について	平成21年度で3施設増となるため、全35施設で実施いたします。							
平成20年度の 自己評価	全32施設で実施しています。							
備考								

## 保育サービスの充実

### 30 市立幼稚園

教育の内容充実に努めるとともに、子育て支援に積極的に取り組むため、延長保育の推進など、幼稚園の弾力的運営を進めます。また、子どもの数の動向を見極めながら、市立幼稚園の3園体制については、新たなニーズに対応できるよう、発展的に見直しを行います。

学務保健課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	3園の事業見直しを検討しました。	園庭開放の拡大を検討しました。	子育て支援課、保育課と協力して、矢崎幼稚園で子育てひろば事業を実施しました。	乳児とその保護者を対象に幼稚園ホールにて子育てひろば「びよっこ」を3園にて試行実施しました。また、園庭開放について水曜日を除く週4日実施しました。延長保育についても各園5回実施しました。	園庭開放の継続及び延長保育の更なる充実	園庭開放3園 延べ231日 7729人 延長保育各園10回 教育相談3園延べ352件	園庭開放の継続 延長保育の拡大・充実 障害児保育の取組 教育相談の充実	①現存の3園体制の見直し ②延長保育の実施 ③未就園児事業の実施 ④保育料、使用料の見直し ⑤園庭開放の増加 ⑥公・私、幼稚園・保育所(園)教諭及び保育士の意見交換や研修の実施等について検討していきます。
最終目標から見た平成21年度目標について	園庭開放週4日の継続及び延長保育の回数増を含み充実を図る。障害児保育の受け入れに対する園の体制強化を図ります。在園児・未就園児に対する教育相談の住持を図ります。							
平成20年度の自己評価	園庭開放においては週4日の実施が定着し、たくさんの園児、保護者のコミュニケーションの場として好評でした。また、延長保育においては各園年10回に増やし実施しました。							
備考	○幼稚園ホールでの子育てひろば事業については、冷暖房や準備備品などの関係で問題点が多いので、場所の再検討をします。							

### 31 利用者負担のあり方の検討(幼保)

保育に欠ける児童に対する福祉サービスである保育と教育サービスである幼稚園との負担のあり方について検討し、より公平な仕組みへと見直しを行います。

保育課 学務保健課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	—	国制度の保育料見直しへの対応を検討しました。	保育所と幼稚園に同時期に通所する世帯への保育料の減額制度を実施しました。	私立幼稚園入園補助金の導入	入園補助金を支給しました。また、保育所と幼稚園に同時期に通所する世帯への保育料の減額制度を実施しました。	引き続き、入園補助金の支給と、保育料の減免制度の実施をします。	負担のあり方を検討し、施策へ反映させます。
最終目標から見た平成21年度目標について	国における保育制度の検討の状況を見つつ、保育に欠ける児童に対する福祉サービスである保育と教育サービスである幼稚園との負担のあり方について検討します。							
平成20年度の自己評価	入園補助金制度を設けました。また、保育所と幼稚園に同時期に通所する世帯への保育料の減額制度を実施しました。							
備考								



## 母子の健康支援

### 32 保育所等巡回歯科保健指導

保育所・幼稚園・学校において、歯みがきや甘味食品・飲料、う蝕に関する歯科保健指導を充実し、子ども自身の歯みがきや自己管理能力の育成を図ります。

健康推進課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設施設								
市立保育所	15か所	15か所	16か所	16か所	16か所	16か所	16か所	34か所
私立保育園	15か所	8か所	8か所	8か所	10か所	10か所	10か所	
市立幼稚園	3か所	—	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所
私立幼稚園	—	—	—	2か所	7か所	3か所	6か所	—
最終目標から見た 平成21年度目標 について	市立の保育所及び幼稚園は全数実施しています。私立の保育園及び幼稚園は希望する園で実施しました。							
平成20年度の 自己評価	市内の市立保育所・幼稚園及び私立保育園・幼稚園に事業案内を通知し、依頼のあった保育所等で実施しました。実施内容は、パネルシアターによる講話と年齢別の歯みがき指導で、指導数は延2,339人です。							
備考								

### 33 乳幼児訪問

育児上必要な事項及び健康管理について、家庭訪問により適切な指導を行うとともに、疾病や異常の早期発見や治療等について助言します。

健康推進課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況(件)	203件	316件	265件	463件	360件	554件	480件	300件
最終目標から見た 平成21年度目標 について	未受診者の状況を把握するための訪問が増え、目標数を上回っています。訪問による支援が有効なケースには積極的に訪問します。							
平成20年度の 自己評価	他事業への連動、関係機関との連携・調整も円滑に実施されています。乳幼児健康診査の未受診者の訪問も実施し訪問件数が増えています。							
備考	家庭訪問の月平均は、30件であることから、平成20年度目標を360件としました。							

## 母子の健康支援

### 34 1歳6か月児健康診査

疾病や障害等の早期発見・早期対応とともに、育児不安の解消及び親子の交流の場としての活用を図ります。また、未受診者に対して、郵便、電話、訪問により状況把握を行い、その後の支援へとつなぎます。

健康推進課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
<実施状況>								
健康診査	月3回	月4回	月4回	月4回	月4回	月4回	月4回	月4回
心理相談	年36回	年44回	年47回	年54回	年48回	年56回	年56回	-
幼児教室	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	-
OB会	年4回	-	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	-
<把握率>	95.10%	95.20%	92.20%	94.60%	95%	95.30%	95%	98%
最終目標から見た 平成21年度目標 について	健康診査受診者の要フォローケースの把握と支援を行います。 未受診者処遇検討会を月1回開催し、未受診者の状況把握に努めます。							
平成20年度の 自己評価	未受診者フォロー体制がより軌道にのり、子ども家庭支援センター等関係機関との連携が図れるようになりました。 未受診者のうち児の状況把握ができないケースは1%以下となっています。							
備考	○検診の目標は6回としましたが、医師の対応など問題があり前年度同様の4回実施となりました。 ○「OB会」とは、幼児教室を卒業した子どもたちを集めてフォローする会。							

### 35 3歳児健康診査

疾病や障害等の早期発見・早期対応とともに、育児不安の解消及び親子の交流の場としての活用を図ります。また、未受診者に対して、郵便、電話、訪問により状況把握を行い、その後の支援へとつなぎます。

健康推進課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
<実施状況>								
健康診査	月3回	月3回	月3回	月4回	月3回	月3回	月3回	-
心理相談	年54回	年53回	年47回	年42回	年45回	年40回	年45回	年64回
幼児教室	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	-
<把握率>	92.60%	92.30%	92.40%	93.00%	59%	92.60%	93%	98%
最終目標から見た 平成21年度目標 について	健康診査受診者の要フォローケースの把握と支援を行います。 受診者処遇検討会を月1回開催し、未受診者の状況把握に努めます。							
平成20年度の 自己評価	未受診者フォロー体制がより軌道にのり、子ども家庭支援センター等関係機関との連携が図れるようになりました。 未受診者のうち児の状況把握ができないケースは1%以下となっています。							
備考	心理相談は、平成18年度まで個別心理相談を中心に行っていましたが、幼児教室での小集団による心理相談の実施も行ってきたことにより、相談実施回数が減となったものです。							

### ひとり親家庭への支援

### 36 母子自立支援の相談

養育費の取り決めなど様々な問題について相談に応じ、自立に必要な情報提供や支援を行います。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況(人)	1人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人
最終目標から見た 平成21年度目標 について	2人体制により充実した相談体制を確保していきます。							
平成20年度の 自己評価	平成20年度から新たに母子自立支援プログラム策定事業を実施しました。新規事業のため、児童扶養手当現況時や新たに児童扶養手当受給者となる方に対し、パンフレットを配布しPRIに努めました。本事業により、母子家庭の状況や必要性に応じたきめ細やかな自立及び就労支援を行いました。 また、児童扶養手当現況提出時には、窓口を設置し生活等の相談を受け付けました。							
備考								

### 37 一時保育(母子生活支援施設)

ひとり親家庭の子どもを、保育所への入所が可能となるまでの間、母子生活支援施設で預かります。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	-	検討	検討	検討	検討	検討	検討	5人
最終目標から見た 平成21年度目標 について	他事業との連携を検討していきます。							
平成20年度の 自己評価	母子生活支援施設と検討した結果、利用者数の不確かな状況での人員配置やこの事業を利用するための待機児が発生することへの対応などの課題がされたため、引き続き検討を行なっていきます。							
備考								

### ひとり親家庭への支援

### 38 母子家庭自立支援教育訓練給付金支給

職業能力開発のために講座を受講する母子世帯の母に対して、修了後に受講料の4割相当額を支給し、自主的な教育訓練を支援します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	事業開始/1人	3人	9人	5人	19人	5人	8人	年30人
最終目標から見た 平成21年度目標 について	母子自立支援プログラム策定事業を活用し、他制度も含め、その人にあった自立支援に努めます。							
平成20年度の 自己評価	平成20年度から実施した母子自立支援プログラム策定事業で資格取得を希望する母子家庭の母の自立及び就労支援を総合的に検討しました。それにより、平成20年8月から開始された就職チャレンジ支援事業の活用等も含め、その人にあったより優位な資格取得を検討し自立支援に努めました。							
備考	雇用保険法の改正に伴い、平成19年10月より支給割合が削減されました。							

### 39 母子家庭高等技能訓練促進費支給

2年以上養成機関で修業する母子世帯の母に対して、修業期間の残り3分の1の期間に高等技能訓練促進費を支給し、生活の負担を軽減することで、資格取得を支援します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	事業開始／3人	5人	4人	6人	6人	4人	6人	年15人
最終目標から見た 平成21年度目標 について	母子自立支援プログラム策定事業を活用し、その人にあった自立支援に努めます。							
平成20年度の 自己評価	母子自立支援プログラム策定事業を活用し、養成機関修業中の生計等その人にあった自立支援に努めました。							
備考	平成20年度、入学支援一時金5万円(課税世帯2万5千円)が創設され、訓練促進費は月額10万3千円(課税世帯5万1千5百円)となり、支給期間が修業期間の最後の2分の1(18か月上限)に改正されました。							

### ひとり親家庭への支援

### 40 常用雇用転換奨励金支給

非常勤雇用者として採用された母子世帯の母に、雇用主が研修・訓練を実施し、常用雇用労働者に雇用転換した場合に奨励金を支給します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)	—	0件	0人	0件	0件	廃止	—	年5回
平成20年度の 自己評価	国は母子家庭の正規雇用転換促進のため、新たに中小企業雇用安定化奨励金を創設し平成19年度末をもって本事業を廃止しました。国の推進する施策で対応可能と判断し平成19年度末をもって廃止しました。							
備考	一定の経過措置を設け、平成19年度末をもって事業廃止。							

## 障害のある子どもと家庭への支援

### 41 障害児保育(再掲)

障害のある子どもを持つ親の保育ニーズに応えるため、私立保育園の新設時などにあわせて入所定員枠を拡大します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数(施設)								
市立保育所	3歳児クラス以上に対応 30人	35人	29人	24人	34人	34	32	定員10人増
私立保育園	0歳児クラス以上に対応 33人	30人	29人	27人	37人	39	41	
最終目標から見た 平成21年度目標 について	全体の待機児童が多い状況のため、通常保育枠と障害児保育枠とのバランスをとりつつ、民間保育所の新設時などにあわせて障害児入所定員枠を拡大しています。							
平成20年度の 自己評価	障害児の受入に努めました。							
備考								

### 42 心身障害学級(特別支援教育)

心身に障害のある子どもに対して、医療機関等と連携を図り、それぞれの能力や個性を伸長させる教育を行います。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	小学校 知的障害固定 6校15クラス 情緒障害通級 2校7クラス 言語障害通級 2校4クラス 難聴通級 1校1クラス  中学校 知的障害固定 3校6クラス 情緒障害通級 1校1クラス	心身障害学級事業は継続して実施しました。	心身障害学級事業は継続して実施しました。 第九小学校に開設しました。 (4/1開設)	小学校 知的障害固定 6校17クラス 情緒障害通級 3校11クラス 言語障害通級 2校3クラス 難聴通級 1校1クラス  中学校 知的障害固定 3校10クラス 情緒障害通級 1校2クラス	小学校 知的障害固定 6校19クラス 情緒障害通級 3校13クラス 言語障害通級 2校3クラス 難聴通級 1校1クラス  中学校 知的障害固定 3校10クラス 情緒障害通級 1校2クラス	情緒障害通級指導学級開設(増設)準備(小学校1校)  小学校 知的固定 6校19クラス 情緒通級 3校13クラス 言語通級 2校3クラス 難聴通級 1校1クラス  中学校 知的固定 3校10クラス 情緒通級 1校2クラス	継続実施	小学校 知的障害固定 7校16クラス 情緒障害通級 3校8クラス
最終目標から見た 平成21年度目標 について	多様化する児童の様子に対応するため、知的固定の増設から情緒通級の増設に切り替え、平成21年度情緒通級が1校開設となります。この状況を継続して実施していくことを当面の目標とします。							
平成20年度の 自己評価	小学校の情緒通級指導学級の開設準備を行いました。これにより、平成21年度は、1校あたりの平均クラス数が減少(4.33⇒3.25)しますので、通級児童に対して、よりきめ細かな指導ができるようになるかと期待しています。							
備考	○平成18年度までは心身障害学級、平成19年度からは特別支援学級という名称となりました。							

## 障害のある子どもと家庭への支援

### 43 幼児教育訓練事業

発達につまずきのある子どもを対象に、他の関係機関と連携して、個々に応じた援助・訓練を行います。また、「あゆの子」に加えて、2か所目の発達支援センターを開設します。

障害者福祉課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	①通園部門(児童デイサービス) 1施設 定員30人 ②外来部門(子ども発達支援事業) 在籍者52人 個別指導23回 グループ指導90回	①通園部門(児童デイサービス) 1施設定員30人 ②外来部門(子ども発達支援事業) 在籍者94人 個別指導35回 グループ指導112回	①通園部門(児童デイサービス) 1施設 定員33人 ②外来部門(子ども発達支援事業) 在籍者91人 個別指導21回 グループ指導120回	①通園部門(児童デイサービス) 1施設 33人 ②外来部門(子ども発達支援事業)109人 個別指導6回 グループ指導154回	①通園部門(児童デイサービス) 1施設 33人 ②外来部門(子ども発達支援事業)100人 個別指導0回 グループ指導147回	①通園部門(児童デイサービス) 1施設 33人 ②外来部門(子ども発達支援事業)112人 個別指導11回(STのみ) グループ指導171回	①通園部門(児童デイサービス) 1施設 33人 ②外来部門(子ども発達支援事業)110人 個別指導15回 グループ指導180回	①通園部門(児童デイサービス) 2施設 定員50人 ②外来部門(子ども発達支援事業) 利用希望者の増加に対応していくため、臨床心理士の個別指導やグループ指導の実施回数を増やしま
最終目標から見た平成21年度目標について	児童デイサービス事業については1施設のままであるが、全事業の見直しを行い定員増などを今後検討していきます。							
平成20年度の自己評価	事業の利用希望者の増加に対するため、通所グループを増やして対応しました。また、個別対応が不可欠な分野については継続して個別指導を実施するなど、質と量の両面で拡充を図りました。							
備考								

### 44 1歳6か月児健康診査(再掲)

健康推進課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
<実施状況>								
健康診査	月3回	月4回	月4回	月4回	月4回	月4回	月4回	月4回
心理相談	年36回	年44回	年47回	年54回	年48回	年56回	年56回	-
幼児教室	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	-
OB会	年4回	-	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	-
<把握率>	95.10%	95.20%	92.20%	94.60%	95.00%	0.953	0.95	98.00%
最終目標から見た平成21年度目標について	健康診査受診者の要フォローケースの把握と支援を行います。未受診者処遇検討会を月1回開催し、未受診者の状況把握に努めます。							
平成20年度の自己評価	未受診者フォロー体制がより軌道にのり、子ども家庭支援センター等関係機関との連携が図れるようになりました。未受診者のうち児の状況把握ができないケースは1%以下となっています。							
備考	○検診の目標は6回としましたが、医師の対応など問題があり前年度同様の4回実施となりました。 ○「OB会」とは、幼児教室を卒業した子どもたちを集めてフォローする会。							

## 障害のある子どもと家庭への支援

### 45 3歳児健康診査(再掲)

疾病や障害等の早期発見・早期対応とともに、育児不安の解消及び親子の交流の場としての活用を図ります。また、未受診者に対して、郵便、電話、訪問により状況把握を行い、その後の支援へとつなぎます。

健康推進課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
<実施状況>								
健康診査	月3回	月3回	月3回	月4回	月3回	月3回	月3回	-
心理相談	年54回	年53回	年47回	年42回	年45回	年40回	年45回	年64回
幼児教室	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	-
<把握率>	92.60%	92.30%	92.40%	93.00%	59.00%	0.926	0.93	98.00%
最終目標から見た 平成21年度目標 について	健康診査受診者の要フォローケースの把握と支援を行います。 受診者処遇検討会を月1回開催し、未受診者の状況把握に努めます。							
平成20年度の 自己評価	未受診者フォロー体制がより軌道にのり、子ども家庭支援センター等関係機関との連携が図れるようになりました。 未受診者のうち児の状況把握ができないケースは1%以下となっています。							
備考	心理相談は、平成18年度まで個別心理相談を中心に行っていましたが、幼児教室での小集団による心理相談の実施も行ってきたことにより、相談実施回数が減となったものです。							

## 小中学校における教育の充実

### 46 教育相談

不登校、いじめなどの様々な教育上の相談に対応するため、関係機関のネットワーク化を図り、教育センターの相談体制を充実します。また、学校からの要請に基づき臨床心理士を派遣します。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	電話相談 延べ602件 来所相談 283件  学校派遣は来所相談の増加への対応で、難しい状況となっています。	電話相談 511件 来所相談 340件	電話相談 397件 来所相談 376件 (延回数 4,053回) 巡回相談(学校訪問)438回 3,520件	電話相談 479件 来所相談 351件 (延回数 3,381回) 巡回相談(学校訪問)433回 4,954件	継続実施	電話相談 453件 来所相談 360件 (延回数 3,911回) 巡回相談(学校訪問)393回 5,955件	継続実施	学校派遣 120件
最終目標から見た 平成21年度目標 について	教育相談・巡回相談ともに、継続実施していくことが必要と考えます。							
平成20年度の 自己評価	各学校に月2回定期的に訪問する形で巡回相談を実施しました。定期訪問によって、児童や保護者の多様化するニーズに応えることができました。 来所相談では、相談者の心に寄りそう相談を継続することによって、相談者の抱える課題解決のための手助けができました。							
備考	臨床心理士の派遣については平成18年度より、特別支援教育事業に移行して実施しました。							



#### 47 メンタルフレンド

ふれあいを通して、子どもの心を開くことのできる相談を行います。また、不登校ぎみの子どもに対し、遊びやお話を通して、学校生活を積極的に支援します。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	小学校全校 週3日	週3～5日	週3日	週3日	継続実施	週3～5日	継続実施	小学校全校 週5日
最終目標から見た 平成21年度目標 について	児童の状況に応じてきめ細かい対応をするため、継続実施していくことが必要と考えます。							
平成20年度の 自己評価	メンタルフレンドが、週3日配置できるよう、年度当初に全小学校に対し630時間を配当するとともに、児童の状況に応じて追加配当を行うなど、きめ細かい対応をすることができました。							
備考								

#### 小中学校における教育の充実

#### 48 けやき教室

不登校などの問題を抱える中学生を対象に、学校とは異なる雰囲気ですぐ生活への適応を促していく、けやき教室を充実していきます。また、小学生についても対応を図ります。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況(か所)	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	継続実施	2クラス
最終目標から見た 平成21年度目標 について	不登校の要因も様々であることから、クラス編成は1クラスですが、よりきめ細かい、一人ひとりに合った指導をしていきます。							
平成20年度の 自己評価	卒業生全員が進学することができ、一定の指導効果は挙げられたと感じています。							
備考								

#### 49 少人数指導等事業

児童・生徒の学習の習熟に程度の差がつきやすいといわれている教科において、学習内容のつまずきや進度の程度に応じ、複数の教員で個別指導などによりきめ細かい指導を行います。また、個々の児童・生徒が持つ学習スタイル・方法の違いへの対応を、チームティーチングや少人数授業として複数の教員が分担・協力して指導し、充実した授業を展開します。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	○小学校 ・チームティーチング 20校 39人 ・少人数授業 7校 7人 ○中学校 ・チームティーチング 7校 23人 ・少人数授業 0校 0人	チームティーチング(小21校・中8校) 少人数(小7校・中0校)	チームティーチング(小22校・中8校) 少人数(小5校・中0校)	チームティーチング(小22校・中9校) 少人数(小5校・中0校)	チームティーチング(小22校・中8校) 少人数(小6校・中0校) 理科指導支援員の配置(小22校・中11校)	チームティーチング(小21校・中8校) 少人数(小7校・中0校) 理科指導支援員の配置(小22校・中11校)	チームティーチング(小21校・中8校) 少人数(小4校・中0校) 理科指導支援員の配置(小22校・中11校)	小・中学校全校でチームティーチング、少人数授業を実施します。
最終目標から見た平成21年度目標について	平成21年度の、授業時数の増についても、市内全校のチームティーチング又は少人数指導を実施していきます。							
平成20年度の自己評価	市内の全小中学校で実施しています。 なお、職員配置については、東京都の教員加配と府中市で採用した講師で実施しました。							
備考	○実施状況の( )数値は、府中市が講師を採用し配置している学校数です。							

#### 小中学校における教育の充実

#### 50 小学校国際理解教育

21世紀を担う児童が、国際社会に対応できるよう、外国の文化や生活、日本の文化などについての体験的な学習により、国際社会に生きるために必要な基本的資質や能力、態度を養います。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	小学校全校の全学年児童を対象に外国人英語指導助手(ALT)を派遣しました。3年生以上の学級数×5時間 1,907時間	小学校全校の全学年児童を対象に外国人英語指導助手(ALT)を派遣しました。3年生以上の学級数×5時間 1,908時間	小学校全校の全学年児童を対象に外国人英語指導助手(ALT)を派遣しました。3年生以上の学級数×5時間 3,229時間	小学校全校の全学年児童を対象に外国人英語指導助手(ALT)を派遣しました。3年生以上の学級数×15時間 3,897時間	3年生以上各15時間	小学校全校の全学年児童を対象に外国人英語指導助手(ALT)を派遣しました。3年生以上の学級数×15時間 3,893時間	3・4年 各15時間 5・6年 各20時間	3年生以上の学級数×6時間
最終目標から見た平成21年度目標について	5・6年生については各学級年20時間に増やすなど、策定時の目標以上に実施します。							
平成20年度の自己評価	全小学校の3年生以上学級にて、外国人英語指導助手(ALT)の派遣を15時間実施し、外国の文化や生活などについて体験的な学習を行うことができました。							
備考								

## 51 移動教室

学校の教育課程に位置づけて、現地での体験学習、集団生活及び体力増進を目的とした移動教室を実施します。また、長期の宿泊体験ができるセカンドスクールの実施を目指します。

学務保健課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	小学校5年生を対象に年1回実施しました。 一泊二日 20校 二泊三日 2校	二泊三日 22校	二泊三日 22校 添乗員を配置しました。	二泊三日 22校 添乗員を配置しました。	二泊三日 22校 添乗員を配置します。	二泊三日 22校 添乗員を配置しました。	セカンドスクール検討協議会を設置します。 二泊三日22校 添乗員を配置します。	二泊三日 22校
最終目標から見た平成21年度目標について	二泊三日22校の実施が定着し、有意義な移動教室が実施できました。							
平成20年度の自己評価	移動教室の目的に沿った体験学習等有意義な活動を展開しました。							
備考								

## 小中学校における教育の充実

### 52 健康づくり

心身の健康の保持増進に努め、それぞれの健康課題に対応するため、児童・生徒が自ら考え健康的な生活を実践する健康教育を推進します。また、喫煙及び薬物乱用の防止について、関係機関と連携して教育を行います。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	中学校を中心に喫煙防止・薬物乱用防止教育を実施しました。	体力運動能力テストの全校実施へ向けての啓発及び調査及び小学校4校・中学校8校で体力運動能力テストを実施しました。 喫煙防止教育・薬物乱用防止教育は各学校で実施しました。	体力向上委員会を設置し、体力・運動能力の現状把握をしました。 喫煙防止教育・薬物乱用防止教育は、各学校で継続して実施しました。	モデル校12校で、体力運動能力テストを実施しました。 喫煙防止教育・薬物乱用防止教育は、教育課題研修会で継続して実施しました。	体力運動能力テストの全校実施を受けての調査研究を行います。 喫煙防止教育・薬物乱用防止教育を実施し、年間指導計画に位置づけます。	体力テストを全校で実施しました。 喫煙防止教育・薬物乱用防止教育は各学校で実施しました。	体力運動能力テストの全校実施を受けての調査研究を行います。 喫煙防止教育・薬物乱用防止教育を実施します。	体力、運動能力テストを全校で実施します。 喫煙防止教育・薬物乱用防止教育の教育課程に位置付けます。
最終目標から見た平成21年度目標について	20年度に引き続き、体力運動能力テストは全小学校で実施し、喫煙防止教育・薬物乱用教育などにも取り組みます。							
平成20年度の自己評価	体力運動能力テストを全小学校で実施しました。また、喫煙防止教育・薬物乱用防止教育などにも取り組みました。							
備考								

### 53 食育推進プラン

栄養士及び指導主事で組織する検討協議会において食育について検討し、食育推進プランを策定します。

学務保健課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	-	「食育推進プロジェクト」 ・栄養士、調理員により構成 ・月1回の会議 ・17年10月及び18年2月の2回、情報紙の発行 ・ホームページの立ち上げ準備	情報紙「ランチタイムズ」を小中学校に配布しました。紙面として18年6月10日19年2月に発行しました。ホームページを18年10月に開設しました。栄養士や調理員を学校へ派遣しました(試食会小学校15回、中学校3回、学校訪問小学校46回)。	情報誌「ランチタイムズ」を小中学校別紙面として学期ごとに発行しました。ホームページの更新(12回)栄養士や調理員を学校へ派遣(試食会小学校15回中学校3回学校訪問小学校60回)をしました。	これまで実施してきた取組みを継続しながら、食育プラン策定に向けてプロジェクトメンバーで検討します。	情報誌「ランチタイムズ」を小中学校別に学期毎発行しました。ホームページの更新(12回)栄養士や調理員を学校へ派遣(試食会小学校14回中学校3回、学校訪問小学校82回中学校22回)をしました。小中学校の家庭科で、栄養士による給食を教材としたTTの授業を行ないました。	これまで実施してきた取組みを継続しながら、食育推進活動を指導室と共に進めていきます。毎年、成果を冊子にして発行しています。	プランを作成し、配布します。
最終目標から見た平成21年度目標について	健康推進課が取りまとめている「食育推進計画」及び指導室と連携の「食育推進計画」に参画することにより、府中市全体の食育との係わりをもちつつ、給食センターにおける食育の推進を図ります。							
平成20年度の自己評価	食育に関する情報提供や体験機会の提供を行い、食育について周知する機会を設けました。また、給食を生きた教材として栄養士が小中学校でTT授業を行いました。中学生の職場体験でも、単なる体験に終わらず、食育と関連づける方向で指導しています。							
備考								

### 小中学校における教育の充実

### 54 心身障害学級(特別支援教育)(再掲)

心身に障害のある子どもに対して、医療機関等と連携を図り、それぞれの能力や個性を伸長させる教育を行います。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	小学校 知的障害固定 6校15クラス 情緒障害通級 2校7クラス 言語障害通級 2校4クラス 難聴通級 1校1クラス  中学校 知的障害固定 3校6クラス 情緒障害通級 1校1クラス	心身障害学級事業は継続して実施しました。	心身障害学級事業は継続して実施しました。第九小学校に開設しました。(4/1開設)	小学校 知的障害固定 6校17クラス 情緒障害通級 3校11クラス 言語障害通級 2校3クラス 難聴通級 1校1クラス  中学校 知的障害固定 3校10クラス 情緒障害通級 1校2クラス	小学校 知的障害固定 6校19クラス 情緒障害通級 3校13クラス 言語障害通級 2校3クラス 難聴通級 1校1クラス  中学校 知的障害固定 3校10クラス 情緒障害通級 1校2クラス	情緒障害通級指導学級開設(増設)準備(小学校1校)  小学校 知的固定 6校19クラス 情緒通級 3校13クラス 言語通級 2校3クラス 難聴通級 1校1クラス  中学校 知的固定 3校10クラス 情緒通級 1校2クラス	継続実施	小学校 知的障害固定 7校16クラス 情緒障害通級 3校8クラス
最終目標から見た平成21年度目標について	多様化する児童の様子に対応するため、知的固定の増設から情緒通級の増設に切り替え、平成21年度情緒通級が1校開設となります。この状況を継続して実施していくことを当面の目標とします。							
平成20年度の自己評価	小学校の情緒通級指導学級の開設準備を行いました。これにより、平成21年度は、1校あたりの平均クラス数が減少(4.33⇒3.25)しますので、通級児童に対して、よりきめ細かな指導ができるようになると期待しています。							
備考	○平成18年度までは心身障害学級、平成19年度からは特別支援学級という名称となりました。							

## 55 中学校部活動外部指導員

地域のひとびとに指導員として活動してもらうことにより、中学校における部活動の振興を図ります。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況 (外部指導員数)	17種目 (55名)	16種目 (74名)	18種目 (80名)	25種目 (84名)	25種目	23種目	25種目	21種目
最終目標から見た 平成21年度目標 について	19年度から目標種目数を達成しています。21年度も23種目での実施を目指します。							
平成20年度の 自己評価	平成20年度は、42種目の部活動がありましたが、1/2以上の23種目で外部指導員に活動してもらうことができました。							
備考								

## 小中学校における教育の充実

## 56 学校施設整備

児童・生徒数の推移を的確に把握し、長時間過ごすことになる校舎の安全を確保するため耐震化に取り組むとともに、新たなニーズに対応した教室の整備を推進します。

総務課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	診断を16施設で実施しました。	○小学校診断施設 ・校舎5校 ・実施設計4校  ○中学校診断施設 ・校舎4校 ・体育館2校(校舎診断の結果、耐震補強不必要・・・1校)	○小学校耐震実施設計1校、補強工事1校  ○中学校耐震実施設計2校、校舎改築工事1校	○小学校耐震実施設計3校、補強工事2校  ○中学校耐震実施設計2校、補強工事2校、校舎改築工事1校	○小学校耐震実施設計3校、補強工事4校 ○中学校耐震実施設計1校、基本設計1校	○小学校耐震実施設計4校、補強工事4校 ○中学校耐震実施設計2校、基本設計1校	○小学校耐震実施設計3校、補強工事5校、基本設計1校 ○中学校耐震補強工事2校、基本設計1校	すべての学校施設の耐震化を目標とします。
最終目標から見た 平成21年度目標 について	学校施設耐震化事業実施計画の前倒しにより、平成25年度までにすべての学校の耐震化を目指します。							
平成20年度の 自己評価	学校施設耐震化事業実施計画を前倒しし、当初の実施目標を上回って耐震化を進めることができました。							
備考	H16までに、診断済施設・・・(小)校舎16校、体育館21校 (中)校舎7校、体育館3校、耐震化済施設・・・(小)校舎1校、体育館22校、(中)体育館11校							

## 57 学校教育ネットワーク

児童・生徒の情報活用能力の育成のため、市立小中学校33校、教育委員会、教育センター及び給食センターを結ぶ学校教育ネットワークを整備し、IT(情報通信技術)を広く活用していきます。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	ホームページを活用しました。	①学校支援システム ②教員支援システム ③校務支援システム 各システムを導入しました。	NHKの配信コンテンツ視聴のためのオアシスプロジェクトを導入しました。	購入図書、書誌データ付きバーコードのついたものになりました。	図書館システム導入に向けた検討をします。	図書館システムについて検討を行いました。	学校図書館蔵書のデータベース化を行い、システムについては引き続き検討をすすめます。	①学習支援システム ②教員支援システム ③校務支援システム ④教育委員会事務システムを導入し、活用します。
最終目標から見た平成21年度目標について	学校図書館のデータベース化をすすめ、また、学校教育ネットワークの活用についても検討していきます。							
平成20年度の自己評価	図書館システム導入についてはコスト面や活用方法などの問題があり、引き続き検討が必要です。							
備考	OICT(インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー)とは、以前ITと言われていたものです。							

## 小中学校における教育の充実

### 58 学校図書館

児童・生徒の読書活動の推進や総合的な学習の時間の調べ学習など、学校図書館の一層の活用が求められることから、各学校に指導補助員を配置し、学校図書館の機能の充実を図ります。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	小中学校33校 週12時間 年間396時間	週13時間 (429時間)	週13時間 (429時間)	週13時間	週20時間	週20時間	週20時間	小中学校33校 週15時間
最終目標から見た平成21年度目標について	継続して週20時間配置します。							
平成20年度の自己評価	学校図書館の機能充実のため、指導補助員の配置を週20時間に増強し、継続しました。							
備考								

## 59 研究協力校

研究協力校として、2年間の研究を行い、その成果を市内及び都全体に発表することにより、市全体の教育力の向上を図ります。中学生自身による企画・活動組織を設け、市内の施設を利用した活動についても支援します。

指導室	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	16～17年度 協力校 6校	小学校・中学校 10校	(一年目) 小学校・中学校8校 (二年目) 小学校・中学校10校	(一年目) 小学校・中学校6校 (二年目) 小学校・中学校8校 (三年目) 小・中学校2校	小・中学校7校	(一年目) 小学校・中学校10校 (二年目) 小学校・中学校6校	小・中学校10校	毎年6～7校で実施します。
最終目標から見た 平成21年度目標 について	20年度より継続の10校及び21年度から6校で実施します。							
平成20年度の 自己評価	研究協力校として、平成20年度より10校、平成19年度より継続して2年目が6校実施しました。							
備考								

## 子どもの健全育成と活動への支援

## 60 子どもふれあいボランティア

子どもとふれあう機会として、子ども家庭支援センター及び保育所で中学生・高校生のボランティアを募集し受け入れます。

子育て支援課 保 育 課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	保育所 子ども家庭支援センター「し らとり」	保育所 子ども家庭支援センター「し らとり」「たっち」、ポップコー ン会場	保育所 子ども家庭支援センター「し らとり」「たっち」 ポップコーン会場	保育所 子ども家庭支援センター 「たっち」 ポップコーン会場	保育所 子ども家庭支援センター「し らとり」「たっち」 ポップコーン会場	保育所 子ども家庭支援センター「し らとり」 「たっち」 ポップコーン会場	保育所 子ども家庭支援センター「し らとり」「たっち」 ポップコーン会場	子ども家庭支援センター 「たっち」で受け入れ
最終目標から見た 平成21年度目標 について	目標は達成されており、今後も継続して行っていきます。							
平成20年度の 自己評価	ポップコーン・しらとり(オープンルーム)にて活動を行い、子どもとのふれあいの機会をつくりました。							
備考								

## 61 中高生体験事業

様々な興味を引き出し、より本格的な活動へのきっかけとして、中学生や高校生を対象とした体験事業や講座を実施します。

児童青少年課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	検討	3コース実施しました。	4コース 延べ26回実施	体験事業の内容を検討し実施します。	4コース 延べ20回実施	体験事業の内容を検討し実施します。	年10コース
最終目標から見た平成21年度目標について	体験事業の内容を検討し実施します。							
平成20年度の自己評価	ヒップホップダンス講座(3コース)、イラスト講座を実施し延べ119名の参加がありました。							
備考								

## 子どもの健全育成と活動への支援

### 62 府中っ子学びのパスポート

郷土の森博物館と美術館に無料で入館できる「府中っ子学びのパスポート」の対象を高校生までに拡大し、興味ある活動への参加機会を増やします。

文化財担当	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	小学生・中学生を対象としました。	新入学の小・中学生を対象に配布しました。 ・市立小…2126人 ・市立中…1740人 ・私立小…166人	新小学生・中学生対象に配布しました。	新小学生・中学生対象に配布しました。	新小学生・中学生対象に配布します。	新小学生・中学生対象に配布しました。	新小学生・中学生対象に配布します。	小学生・中学生・高校生対象に配布します。
最終目標から見た平成21年度目標について	最終目標の配布対象は、小学生・中学生・高校生ですが、平成21年度も例年のとおり新小学生・中学生を対象に配布します。							
平成20年度の自己評価	市内の小・中学校に通う児童にすでに配布しているため、新入学児・転校児を対象に配布しました。							
備考	通算9年間使用可能です(途中で紛失した時は、指定場所にて再発行しております。)							



### 63 児童館自主活動奨励事業(指導員の配置)

市内11か所の児童館において子どもの遊び相手や話し相手となる児童館指導員の配置日数を拡大します。また、ボランティア指導員を募集し、地域のひとびとと協力して子どもの遊びを支援します。

市民活動支援課 子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
配置日	5日/週(平日)	継続実施	継続実施	継続実施	内容検討	継続実施	内容検討	休日に1日6時間
配置時間	3時間/日(平日) 6時間/日(夏・冬・春休み)	継続実施	継続実施	継続実施	内容検討	継続実施	内容検討	6時間/日
実施状況	児童館指導員を配置しました。	継続実施	継続実施	継続実施	内容検討	継続実施	内容検討	ボランティア指導員を配置します。
最終目標から見た 平成21年度目標 について	放課後子ども教室の状況を見ながら、児童館の指導員配置について検討していきます。							
平成20年度の 自己評価	中央文化センターで休日3時間/日の指導員配置を試行しました。							
備考								

### 子どもの健全育成と活動への支援

### 64 学童クラブ

保護者が昼間家庭にいない小学校低学年児童の健全育成を行います。ブロック単位による事業運営により、効率化と育成水準の向上を図り、3年生(障害児は6年生)までの入会希望児童全員を受け入れます。また、地域と連携した運営を行うため、運営懇談会を設置します。

児童青少年課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
施設数	22施設	22施設	22施設	22施設	22施設	22施設	22施設	22施設
定員	1,642人	1,692人	1,700人	1,719人	1,967人	1,784人	2,045人	2,045人
障害児の受け入れ	小学5年生まで	小学6年生まで	小学6年生まで	小学校6年生まで	小学校6年生まで	小学校6年生まで	—	小学校6年生まで
最終目標から見た 平成21年度目標 について	入所を希望するすべての児童の受け入れをします。							
平成20年度の 自己評価	入所を希望するすべての児童の受け入れを行いました。							
備考								

## 65 地域子どもひろば事業

放課後や休日、長期休暇期間に、学校施設や公園などを利用した活動を、保護者や地域のひとびとと協力して実施します。

児童青少年課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	小学校の体育館を開放しました。	実施回数 421回	○小学校体育館開放事業 実施回数 537回 ○放課後子ども教室事業を 小学校で実施するための 検討を実施しました。	○小学校体育館開放事業 放課後子ども教室実施の3 校を除く19校で実施しまし た。 実施回数 484回 ○放課後子ども教室 3校で実施しました。	全小学校で放課後子ども 教室を実施します。	放課後子ども教室事業とし て、全小学校で実施しまし た。	全小学校で放課後子ども 教室事業を実施します。	保護者やボランティア指導 員と協力した活動を実施し ます。
最終目標から見た 平成21年度目標 について	全小学校で放課後子ども教室事業を実施します。							
平成20年度の 自己評価	全小学校で放課後子ども教室事業として実施しました。							
備考								

## 子どもの健全育成と活動への支援

### 66 中学生・高校生の活動の支援

児童館及び子ども家庭支援センター「たっち」の夕方以降を中学生・高校生の懇談や活動の場所とするともに、指導員を配置し、悩みや不安を気軽に相談できる場とします。また、中高生自身による企画・活動組織を設け、市内の施設を利用した活動についても支援します。

児童青少年課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	—	検討	3コース 132名	4コース 132名	体験事業の内容を検討 し実施します。	4コース 119名	体験事業の内容を検討 し実施します。	中学生・高校生の主体的な 活動を支援します。 相談体制を充実します。
最終目標から見た 平成21年度目標 について	体験事業の内容を検討し実施します。							
平成20年度の 自己評価	ヒップホップダンス講座、イラスト講座を実施し、中高生自身で自立して活動できるような場を提供しました。							
備考								

## 家庭や職場における子育て環境の向上

### 67 子育て講座(再掲)

子ども家庭支援センター「たち」において、出産・育児の不安解消や親同士の交流のための子育て講座を行います。また、父親・両親向けの講座を行い、父親の育児参加を促進します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度	策定時の目標
					実施目標	実施経過	実施目標	
実施状況	—	出産後の母子を対象にした講座(すやすやクラブ、ころりんクラブ)を各コース全4回を各2回実施しました。 妊婦を対象にした講座(カンガルータイム(全4回))を1回実施しました。	出産後の母子を対象にした講座(すやすやクラブ、ころりんクラブ)を各コース全6回を各2回実施しました。 ミニすやころクラブを3回実施しました。 妊婦を対象にした講座を4回実施しました。	出産後の母子を対象とした講座(すやすやクラブ、ころりんクラブ)を各コース3回、3日間ずつ実施しました。 妊婦を対象にした講座(カンガルータイム(4コース8日間))、ベビーマッサージを4回実施しました。	月1回子育て講座を開催します。 父親・両親向けの講座を行います。	出産後の母子を対象とした講座(すやすやクラブ、ころりんクラブ)を各コース3回、4日間ずつ実施しました。 また、妊婦・父親を対象にした講座(カンガルータイム)を3回、ベビーマッサージを1回実施しました。	月1回の子育て講座、父親・両親向けの講座を実施します。	月1回開催します。
最終目標から見た平成21年度目標について	アンケート結果などを参考に、子育て家庭のニーズのあった講座を展開し事業の充実に努めます。 月1回開催目標は、達成する見込みです。							
平成20年度の自己評価	各講座とも盛況で、良いアンケート結果が出ています。 参加者のアンケートをもとに講座の内容をさらに検討し、充実させてきます。							
備考	○すやすやクラブ、ころりんクラブ・・・出産後の母子対象に親子交流や友達作りを目的とした講座です ○カンガルータイム・・・妊婦を対象に出産までの健康管理や妊婦からの友達作りを目的とした講座です							

### 68 子育てしやすい就業環境の啓発

商工会議所等と連携して、女性の就業機会の拡大や出産後の円滑な職場復帰、父母ともに子どもとゆっくり過ごせる時間の確保など、就業環境の改善を事業主(企業等)に働きかけます。また、次世代育成支援のための国等の助成・支援制度の情報提供を行います。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度	策定時の目標
					実施目標	実施経過	実施目標	
実施状況	—	商工会議所会員の協議会へ参加しました。	産業経済課を通じ、中小企業向けの子育て中の従業員の育児休業時にかかる経費の融資制度やファミリーサポート事業の市民周知について依頼をしました。	経済観光課を通じ、中小企業向けの子育て中の従業員の育児休業時にかかる経費の融資制度について市民周知をしました。 商工会議所会員の協議会への継続参加依頼をしました。	意識啓発への仕組みづくりを検討します。	経済観光課を通じ、中小企業向けの子育て中の従業員の育児休業時にかかる経費の融資制度について市民周知をしました。 商工会議所会員の協議会への継続参加依頼をしました。	新たな展開を検討します	啓発事業・情報提供を行います。
最終目標から見た平成21年度目標について	ワークライフバランスの推進が課題となっていますので、これを踏まえた啓発のあり方などを検討していきます。							
平成20年度の自己評価	子育て支援に関する企業への支援について情報収集・提供を行いました。 また、平成20年度より労働者側からの委員を選出しました。							
備考								

## 安全なまちづくりの推進

### 69 地域安全の推進

市・市民・事業者等が自らの責任において犯罪の防止に努め、連携した活動を行うことにより、「犯罪を起こさせない、犯罪が起きにくいまち」にし、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。

地域安全対策課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実施結果	平成20年度		平成21年度 実施目標	策定時の目標
					実施目標	実施経過		
実施状況	防犯関係団体等によるパトロールを行いました。 犬のおさんぽパトロール 子ども見守りパトロール 自転車パトロール	警備会社に委託し警備員が巡回しました。 市民によるパトロール、防犯関係団体等によるパトロール、犬のおさんぽパトロール、子ども見守りパトロール、自転車パトロール、事業者によるパトロール、市職員によるパトロール、地域安全運動を実施しました。	(新規) ○防災無線による「子どもの見守り活動」の呼びかけ ○緊急情報提供システム「府中市安全安心メール」の運用 ○地域安全リーダ講習会の開催(年2回) ○地域安全市民のつどい、防犯講座の開催  (継続) ○警備会社に委託し警備員が巡回、市民・防犯関係団体によるパトロール ○犬のお散歩パトロール、子ども見守りパトロール、自転車パトロール、市職員によるパトロール、地域安全運動(目標)保護者、学校、地域の人々と連携した活動の推進	(新規) ○地域安全市民パトロールの実施しました。  (継続) ○防災無線による「子どもの見守り活動」の呼びかけ、「安全安心メール」の運用、「地域安全リーダ講習会の開催」「警備会社・市民・防犯関係団体によるパトロール」「犬のお散歩パトロール」自転車パトロール」「市職員によるパトロール」を実施しました。	継続実施	○防災無線による「子どもの見守り活動」の呼びかけ、「安全安心メール」の運用、「地域安全リーダ講習会の開催」「警備会社・市民・防犯関係団体によるパトロール」「犬のお散歩パトロール」「自転車パトロール」「市職員によるパトロール」を実施しました。 ○地域安全リーダ講習会開催 ○防犯講座の開催	継続実施	保護者、学校、地域のひとひとと連携した活動を推進します。
最終目標から見た平成21年度目標について	パトロールの強化、子どもたちを見守る体制を整備する等、地域全体で安全確保を行います。							
平成20年度の自己評価	市・市民・事業者等が連携した防犯活動・電子メールによる情報提供の実施、地域安全リーダ講習会開催等、振り込め詐欺被害や不審者を出にくくする活動をすすめました。							
備考	○地域安全市民パトロールとは、それぞれの地区(自治会など)で防犯隊を結成し、地域のパトロールを実施すること。							